

3年生学年通信

NO.16 2022.2.18発行

人権学習をしました

マイクロアグレッションの学習から発展して、黒人差別について調べ学習をしました。各自で調べた内容をタブレットでまとめて発表し、BLMに関する動画を見て感想を書きました。

全員分ではありませんが、いくつか感想を紹介します。

日本では、多くの方が自分たちは差別をしていないと考えながら、無意識に差別的な行動をとっているのではないかと思います。BLMについても、アメリカの話だとどこか他人事としてとらえているところがあるので、本当に自分は今まで誰かに対して差別的なことをしなかったか一人一人が考えなければならぬと思う。知らないことが怖いという気持ちはたぶん誰でも持っているけど、そこから一歩踏み出して相手を知ろうとすることを心がけたい。差別の対象となっているからといって全員が同じ考え方でないし、差別しない、傷つけない行動に明確な正解なんてきっと無いので、差別をなくすにはどうすればいいのか、皆が自分の問題として考えていかなければならぬと思った。

差別は人の言動から生まれるけれど、差別をする人をつくる原因の1つにメディアがあることを知り驚きました。メディアの力はすごく大きいため、メディアが黒人を暴力的に取り上げたりするとすぐにそのようなイメージがついてしまい差別をする人を作り上げてしまうのではないかと考えました。今日見たDVDのように黒人の歴史や現状を伝えるメディアが増えればもっと黒人差別が減ると思います。せっかくメディアが大きな力を持っているので、もっと黒人差別だけでなく他の差別に関しても偏見が無くなるような使い方をしてほしいです。高校や大学に上がるにつれて様々な個性を持っている人と出会うと思うけれど、自分が知らない間に相手を傷つけているかもしれないということを忘れずに自分に責任を持つとうと思いました。



日本は黒人や白人などの他の国から来た人たちへの差別は少ないと思っていたけれど、動画を見て、この言葉を言われて悲しくなったこと話を聞いて、やはり気付いていないだけで、相手が傷ついていることがたくさんあるんだなあと思いました。ニュースで黒人が何もしていないのに撃たれて亡くなったというニュースを聞いて、なぜ肌が黒いだけで殺されてしまうのかと疑問に思っていました。他の差別もすべてなくなればいいのになと思います。



たしかに、大人になるにつれて黒人差別について関心を持つ人が多いのかなと思いました。子供のうちは思ったことをすぐに口にしてしまう純粋な時期なので、黒人の方を悪く言ってしまう、悲しませてしまうんだなと思いました。なので、今私たちが学習していることをもっと分かりやすくして小さいうちから知っていた方が小学校での黒人差別は少し少なくなるのではと思います。なので、私が親になったときには、子どもが小さいうちから絵本などで黒人差別について学ばせようかなと思いました。これは、他の差別にも関係していて、LGBTや障がいを持った人に対しての差別をなくすということを早いうちから知っている方が得だなと思いました。



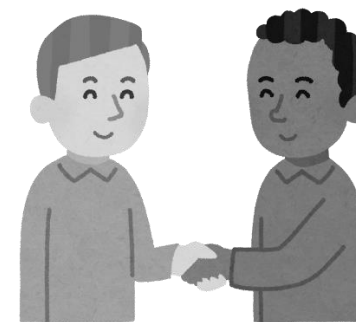
自分は黒人を差別していないと思っていたけど、スポーツなどで活躍する黒人を見るとやっぱり、どこかで黒人だから身体能力が高いとか、黒人だからうまいと思っていたけど、それも差別だったんだと思った。



黒人差別について授業をして日本にはあんまり差別(黒人)はないと思ったけど、ビデオとかを見て、日本では偏見を持っている人がいっぱいいることが分かった。そういう偏見からなくて、世界中広まって差別がなくなればいいと思ったし、みんながしてるから差別するとかじゃなく自分でちゃんと考えて行動した方がいいと思った。



デモをされて迷惑だと思うのなら、まずデモを起こされるようなことをしないことだと思った。黒人ですごく活躍しているスポーツ選手も知っているから、なぜ下に見てしまう人がいるのか疑問に思った。発表のために調べたとき、差別が始まったのは奴隷として連れてこられて、まともな勉強もできていない状態だったからと知った。よくない仕事に就いて、それで悪いイメージがついてしまっただけだと知った。さらに黒人は殴られて育ったけど、一方で白人は愛を受けて育っていたから、黒人は人を殴ることが普通だと思っているから人を殴って、それを見た白人が黒人を怖がって、そこから「黒人は怖い」という印象が付いたのだと知った。これらのことから、黒人に罪はないし、そうやって差別が生まれないように「黒人」「白人」などという概念を無くして「人間」として平等に共存できる社会が早く来ればいいと思った。差別がより深刻になっているのは、芸人や映画の影響があったからだから、それを逆手にとって、差別をなくすことができるような映画を作ったりすれば、少しは希望が見えてくるのではないかなと思った。





スポーツの試合を見ていて、黒人のハーフの人が出ていると強いなあ。とか、自分の中で自覚がないまま「黒人だから」と思っていたかもしれないと気づいた。よく考えてみると、「黒人」「日本人」などの大枠で物事をとらえようとしているから誤解が生まれるのではないかと思った。日本人だから着物の着方が分かるとか、おすしが作れるわけではないので、1人1人を個人としてみることを心がけたい。これからもっとたくさんの人種の人が日本で暮らしたり、逆に海外で暮らすことがふえると思うけど、互いを知って尊重するための「理解」、世界中の人が行って自分事として考えることが大切。家族や周りの人と話し合いたいと思う。



誰だって身体的特徴で比較されたり、どうしようもないことで文句を言われるのは嫌なくせに、肌の色1つで事件が起きたり差別されるのはおかしいと思う。アメリカの歴史で差別が正当化、合法化されていた普通が残りつつあると思うと悲しいし、その普通が日本にも少しあると感じた。肌の色が黒いと珍しがってしまう気持ちは自分にも少しあるし、それを面白いがる大人もたくさんいるはずだし、とにかくこの問題について「自分は関係ない」「自分はしていない」と思うだけでなく、自ら声を上げることが大切だと思いました。



黒人差別について知っていることはあったけど、このように詳しく調べることで、なんで黒人差別が起きたのかなど新たな発見がありました。確かに私にもオリンピック選手に黒人が多くいることから、黒人は運動神経がいいと思い込んでしまっていました。私自身、全く嫌がらせて言っているわけではないし、これが「マイクロアグレッション」につながるのだと感じたので、私も気をつけようと思いました。黒人差別だけでなく、他の差別にもつながると思うので、良いことに気が付けてよかったです。動画にもあったように、映画などでの過度な演出など、実際には違うことがメディアで言われると、メディアによる大きな影響力のせいで、全ての人の意見が変わってしまうことがあります。このようなメディアはしっかりと、信用できる情報を発信してほしいなと感じました。そして、やっぱり差別はいろいろな人を傷つけるので、良くないなと感じました。

